

女性のデジタル入門セミナー (女性のエンパワーメント事業) 【鹿児島県】

個別事業費	677 千円
交付金額	338 千円

地域の実情と課題

本県においては、デジタルスキル習得による就労を支援する取組として、求職者を対象に、基礎的なITリテラシーの獲得から初歩的なITスキルの資格取得までを支援する職業訓練を無料で実施しており、女性も多く参加している。

一方、「女性はIT分野が苦手」、「デジタル分野は難しそう」といった思い込み等により、そもそも女性は男性に比べ、デジタルスキルの習得やデジタル分野の就労に対して、無意識のうちに及び腰となっている可能性があるため、本県においてもIT技術者に占める女性の割合は非常に少ない状況等がある。

そこで女性が当該分野での就労を身近に感じ、スキル習得や就労に向けて前向きに行動を移せるような取組として、「デジタルお仕事入門セミナー」を新たに開催し、デジタルスキル習得によるメリットや事例の発信等を通して、女性のデジタル就労に対する意識醸成を図るとともに、上記の県商工労働関係部局が実施するスキル習得のための職業訓練等につなげ、女性のデジタル分野における就労を促進する必要がある。

事業の特徴

- ・ セミナーについては、女性活躍推進会議等において協議、意見交換を行い、事業内容に反映させる。
- ・ セミナー等の実施結果、参加者の意見、今後の課題等について女性活躍推進会議において情報を共有し、次年度以降の取組に反映する。
- ・ 他部局が実施するデジタル人材育成の取組と連携を図ることで、同セミナーの受講者が、次の具体的な行動としてデジタルスキルの習得に足を踏み出せるよう支援する

事業の効果

デジタルスキルを向上させて就労機会の拡大や所得向上を目指すためのリスクリングの重要性など、語られてはいるが、DX人材、デジタル人材など、新しい言葉が氾濫し、その理解に追いついていない個人、組織が多く、今回のセミナーによって、具体的にどのような人材の育成、どのようなスキルの獲得が重要であるか、概念や取組の具体を整理することができた。

目的・目標

(目的)

デジタルスキルの習得・デジタル分野での就労のメリットや、就労に必要なスキル、デジタル分野で働く女性の生の声等を伝えるセミナーを開催し、女性のデジタル就労に対する意識醸成を図る。

(目標)

デジタルスキル習得に向けて具体的に行動した受講者の割合 50%

連携団体

鹿児島県女性活躍推進会議

(構成団体)

鹿児島県商工会議所連合会、鹿児島県商工会連合会、鹿児島経済同友会、鹿児島県経営者協会、鹿児島県中小企業団体中央会、鹿児島県農業協同組合中央会、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県森林組合連合会、鹿児島大学、鹿児島労働局、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会

今後の課題

セミナー後の参加者の動向が追えず、その後の現状把握(具体的な行動がなされているか等)が困難であったため、半年～1年後を目安に、今年度の受講者に対してアンケートを実施することとしている。

女性のデジタル入門セミナー

- (1) 目的
デジタルスキルの習得・デジタル分野での就労のメリットや、就労に必要なスキル、デジタル分野で働く女性の生の声等を伝えるセミナーを開催し、女性のデジタル就労に対する意識醸成を図る。
- (2) 対象
 - ・ コロナの影響や妊娠出産等で、離職を余儀なくされた女性
 - ・ デジタル分野への転職を検討しているが具体的な行動まで至っていない女性
 - ・ 将来的にデジタル分野での就職を考えている女性 等
- (3) 内容
 - ① 「Kickoffセミナー」(R5.12.2) ★※
 - ・ 講師:大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 18人(うちweb7人)
 - ② 「わたしの可能性をひろげる
～ITスキルを使ってゆたかに働くということ～」(R6.2.23) ★
 - ・ 講師:小田垣 栄司氏(株式会社ノヴィータ 代表取締役会長)
笈田 詩乃氏(株式会社ノヴィータ 地域共創事業担当)
 - ・ 参加者: 43人(うちweb25人)
 - ③ 「Closingセミナー・交流会」(R6.3.2) ※
 - ・ 講師:大崎 麻子氏(ジェンダー・スペシャリスト)
 - ・ 参加者: 7人(うちweb1人)

★は公開講座

※は働く女性のマネジメントセミナー、地方自治を担う女性のエンパワーメントセミナーと合同開催

